

第1回湖北広域行政事務センター施設整備計画および運営形態のあり方検討委員会 概要

1. 開催日時 平成25年8月1日（木）午後2時30分～午後5時
2. 開催場所 湖北広域行政事務センタークリスタルプラザ（長浜市八幡中山町200番地）
工場棟3階 小会議室
3. 出席者 22名（委員13名 事務局9名）
4. 議題
 - （1）委員長、副委員長の選任
 - （2）センター施設の現況、今後の整備方針の説明
 - （3）今後の委員会予定

5. 会議

（内 容）

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員長、副委員長の選出
- 4 会議の公開について
- 5 説明事項・質疑
- 6 今後の予定
- 7 その他
- 8 閉会

（開会）

午後2時30分開会

（挨拶）

センター管理者から挨拶

（委員長、副委員長の選出）

委員長として金谷委員、副委員長として及川委員を選出。

（会議の公開について）

事務局より、「湖北広域行政事務センター情報公開条例【抜粋】」に基づき、本会議を公開することについて説明。

（説明事項）

- 1 センター施設の現況説明
- 2 次期施設のあり方、基本方針を説明

（維持管理の効率性や経済性に基づき、現状点在する各施設の一箇所集約化が望ましい。）

(質疑)

1 次期施設規模について

(委員) 次期施設の規模を算定するためには「ごみ量」、「人口推移」、「ごみ原単位」が必要なのではないかな。

(事務局) 施設規模は、現在の規模を基準に考えている。

(委員) 概算事業費も算出するのだから、現状の規模ではなくラフでも良いので、現時点で想定できる整備時点の規模を設定すべきではないかな。これが全ての基本になってくる。

(事務局) 了承。資料を精査する。

2 次期施設整備の基本的な考え方について

(委員) センターから基本方針の説明があり、斎場は別として焼却施設、破碎施設、し尿処理は1カ所にまとめる方が良いとの方針が示された。今回の資料では1カ所に集約する方が効率的であるとなっているが、1カ所で集約することや施設規模について根拠を明確にする必要がある。比較表などで1カ所集約化に決定するまでの道筋がもう少しあって良いのではないかな。センターとしては、管理する側からの効率だけでなく、移動コストや環境負荷によるコストも考えないといけない。

(委員) 構成自治体が2市となって、今までの1市9町の時代では、それぞれの自治体が役割分担として持ち回りの施設整備を行ってきたが、2市となって効率化の良い運営を考えると出来るだけ集約した方が良いだろうと考える。合併してから財政状況も厳しくなっている状況から、効率的の良いあまり財政負担のかからない様な施設の整備をしていかないといけない。センターとしては経費削減という観点からも集約型の施設を考えざるを得ない状況だと思う。

(委員) 焼却施設は非常に環境規制も厳しく、エネルギー回収もしないといけない。集約型とすることでロジスティックの問題は当然沢山ある。そこで、中継基地を整備する可能性は十分にあり、環境負荷も変わる。その辺を詳細に計算し、資料を提出してほしい。

(事務局) 了承。資料を精査する。

(今後の予定)

事務局で調整し、連絡する。

(その他)

特に意見なし。

(閉会)

午後5時00分閉会

以上